

奈良ソールラン

「がん治療の希望に」

がん免疫療法
実施機関で初

再生医療計画で認可

人間ドックと免疫細胞治療の医療機関「グランソール奈良」(宇陀市菟田野松井)が、昨年11月施行の「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づいて厚生労働省に提出していた「再生医療等提供計画」が受理された。今月1日付。がん免疫療法を実施する再生医療提供医療機関として認可されるのは全国で初めて。

も特徴だという。

辻村貴弘院長は「さまざまな治療法がある中で、今回の認可が信用や信頼の材料となり、治療されている方々の希望につながる」と話す。

同院では、細胞培養加工施設も同法に基づいて、昨年12月に厚生労働省の認可を受けている。

ている。

同院は、取り組んでいる4種類のがん免疫療法について届け出て、受理された。

4種類は、活性化リンパ球治療であるT細胞治療▽ガンマアルタ

・ナチュラルキラー(ア

δNK) T細胞治療▽NK細胞治療と、T

樹状細胞ペプチドワクチン治療。抗がん作用の増強や免疫バランスの調整が期待でき、本質的な副作用がないの



がん免疫療法を実施する再生医療提供医療機関として全国で初めて認可されたグランソール奈良=宇陀市菟田野松井(同院提供)

再生医療は従来、医師法の下で自由診療扱いだったが、同法では再生医療を提供する医療機関に対し、厚生労働省への計画書提出を義務付けている。